教科書における国際教育関連記載事項抜き出しリスト

社会・地理的分野

●：教科書記載のトピックが主に当てはまる分類（一つのトピックにつき一つのみ）
○：教科書記載のトピックが関連のある付随的分類（一つのトピックに何もつかない場合もあれば、複数つく場合もある）

⇒地理的な見方・考え方：「位置や分布」、「場所の特徴」、「人と自然の関係」、「ほかの場所への影響/地域どうしのつながり」、「地域全体の傾向」
※教科書記載事項の列の【】内は、その抜き出したトピックが当てはまる「国際理解教育の実践的枠組み」の分類を表す。その中で下線がついているものが主な分類、下線がないものは付随的な分類となる。

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載事項	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材	A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択			JICA関連記載				その他
								1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加	国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
A 世界と日本の地域構成																								
巻頭				巻頭1 SDGs(持続可能な開発目標)【C-4開発、C-2環境、C-1人権、C-3平和】 巻頭7 漢字の看板があふれるニューヨークの街角【A-3多文化共生、B-1相互依存】						●	○		○	○	○	●								
(1) 地域構成 地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、以下の事項を身につける		位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらい。学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにすることが求められる。	(P.2~P.25) 第1部　世界と日本の地域構成																					
ア 知識の習得	(ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること	緯度と経度については、地球上の位置を緯度・経度を用いて表せるようにすることを意味。 大陸と海洋の分布については、各種地球儀や世界全図などを活用して、地球規模の位置関係を捉える手掛かりとなる六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を理解できるようにする。 主な国々の名称と位置については、地球上の位置関係を捉え、表現するための手掛かりとなる国名の知識を理解できるようにする。	(P.3～P.13) 第1章　世界の姿		位置や分布	1. 北半球と南半球の両方にまたがる大陸を答える 2. インド洋の位置について、「アフリカ大陸」、「ユーラシア大陸」、「東」、「南」の語句を使って説明 3. アジア州の位置について、「ユーラシア大陸」、「ヨーロッパ州」、「インド洋」の語句を使って説明 4. 大陸や海洋、州や国の位置に関する問題を作成し、グループで解き合う	・州別に色分けしたヨーロッパ中心の世界地図																	
	(イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること	我が国の国土の位置については、経度と緯度を使って国土の絶対的位置を捉えること、様々な相対的位置を取り上げることを意味する。 世界各地との時差については、日本との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解できるようにすることを意味する。 領域の範囲や変化とその特色については、領土だけでなく、領海、領空から成り立っており、それらが一体的な関係にあることを捉えることを意味している。	(P.14～P.25) 第2章　日本の姿	北方領土、竹島などの領土問題および日本国民と北方領土に住むロシア人との交流（テキスト、写真）(P.20)【C-3平和、D-1歴史認識】	位置や分布	1. 「排他的経済水域」と「国土面積」の語句を使って日本の領域の特色を説明 2. 択捉島と沖ノ鳥島について、語群の中から二つ以上の語句を使ってそれぞれの島を説明 【東　西　南　北　北方領土　尖閣諸島　排他的経済水域】	・主な国の排他的経済水域の面積図 ・日本の排他的経済水域の範囲							●		○						
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ア) 世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで違いを考察したり、世界の主な国が日本とどのような位置関係にあるかを考察したりするなどの活動を通じて、地球上の位置関係や形状を正しく捉える学習を行うことが考えられる。																						
	(イ) 日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、我が国の国土は多数の島々からなり、広大な広がりを有する海洋国家としての特色を持っていることなどを考察できるように、日本の略地図に島々を書き加えたり、領海や経済水域を含めた面積で比較したりすることが考えられる。																						
B　世界の様々な地域																								
(1) 世界各地の人々の生活と環境 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、次の事項を身につける		世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。例えば、気候や植生などの自然的な側面や、集落や道路といった社会的な側面から僧都や特徴を捉えることなどが考えられる。	(P.26～P.128) 第2部　世界のさまざまな地域	(P.26~46)																				
ア 知識の習得	(ア) 人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすることを理解すること	人々の生活が自然的条件のみではなく社会的条件の違いにも留意すること。さらに、人間社会の営みが自然環境に影響を与えることもあり、相互は関係し合っていることに留意すること。	(P.26～P.46) 第1章　人々の生活と環境	熱帯の気候と暮らし(P.30~31)【A-1文化理解、C-2環境】 乾燥帯の気候と暮らし(P.32~33)【A-1文化理解、C-2環境】 温帯の気候と暮らし(P.34~35)【A-1文化理解、C-2環境】 亜寒帯（冷帯）・寒帯の気候と暮らし(P.36~37)【A-1文化理解、C-2環境】 高山地帯の気候と暮らし(P.38~39)【A-1文化理解、C-2環境】	場所の特徴 人と自然の関係	1、自然環境や人々の暮らしに注目して写真を読み取り、その写真の撮影地を図から選ぶ。また選んだ理由を説明する。	・世界の気候帯 ・遊牧民、ぶどうの収穫などの世界各地の特徴を表した写真	●					○										
	(イ) 世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、主な宗教の分布も理解すること	世界の人々の衣食住などの生活が主な学習対象。また、同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に着目し、人々の生活が可変的なものであることに気づく		人々の生活と世界の宗教(P.42~43)【A-3 多文化共生、A-1文化理解】				○		●														
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ア) 人々の生活の特色やその変容の理由を、自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	世界各地における人々の生活の特色がなぜ生み出されているのか、生活における変容がなぜ生じたのか、自然及び社会的条件などと関連付けることを通して、地理的な事象の意味や事象間の関係に着目すること																						
(2) 世界の諸地域 各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などの着目して、次の事項を身につける		空間的相互依存作用や地域に関わる視点に着目して、世界各地域で見られる地球的課題の要因や影響をその地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察して表現する力の育成。また、地域的特色やそこで見られる地球的課題と地域的特色の関係を理解できるようにする。	(P.47～P.129) 第2章　世界の諸地域																					

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載事項	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識の習得	(ｱ) 顕在化している地球的課題は、地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解すること	グローバル化する国際社会において、人類全体で取り組まなければならない課題、例えば持続可能な開発目標(SDGs)などの課題を取り上げ、普遍的な課題ではあるが地域的特色により要因や影響、対処の仕方などが異なることを意味する	(P.48～P.65) 第1節　アジア州	日本と関りの深い韓国文化（テキスト、コラム、写真）(P.56)【A-2文化交流、B-1相互依存】 平和への道を探る朝鮮半島（コラム）(P.57)【C-3平和、D-1歴史認識】 東南アジアに進出した日本企業（コラム、写真）(P.59)【B-1相互依存】 外国人労働者が支える産油国の発展(P.63)【B-1相互依存】 中央アジアや西アジアの難民問題（テキスト、写真）(P.63)【C-3平和、C-1人権】	ほかの場所への影響 地域全体の傾向	第1節　アジア州 1. 急速な経済成長によって、アジアの国・地域で生じているえいきょうについて、表の空欄を埋める 2. ①中国・韓国・東南アジア・南アジアでの急速な経済成長の背景にある共通点を「人口」「工業」を使って説明。②アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているか。地理的な見方・考え方を働かせて、節の問いに対する考えを「都市化」「経済格差」を使って説明。 3. ①国・地域を一つ選び、生じている課題の原因を考える。②①で選んだ課題に対して、どのような取り組みを行うとよりよい社会になるか、課題の原因を踏まえて考える。さんグループで、どのような取り組みを優先的に行うことが大切か話し合う。	・アジア州の国・地域における経済成長の背景とその影響をまとめた表			●		○ ● ●		○		● ●		○								
			(P.66～P.81) 第2節　ヨーロッパ州	「環境」水の都ベネツィアが沈む？(P.69)【C-2環境】 ヨーロッパで共存する多様な文化(P.71)【A-3多文化共生、B-1相互依存】 EU統合による人々と物の国際間移動(P.73)【B-1相互依存】		第2節　ヨーロッパ州 1. EUの統合による効果と、それによって生じた課題について表を埋める 2. ①ヨーロッパ州の国々がEUを結成した背景や理由について説明する。②ヨーロッパ州では国どうしの結び付きが強まることによって地域にどのような影響が生じているのか、地理的見方・考え方を働かせて節の問いに対する考えを「ヨーロッパ連合(EU)」「経済格差」を使って説明。 3. ①EU加盟国間ではなぜ経済格差が大きくなっているのか、加盟国数の変化に着目して考える。②EU加盟国間の経済格差を小さくしていくためにどのような取り組みを行うと良いか、「西ヨーロッパの人」または「東ヨーロッパの人」の立場で考える。③グループでどのような取り組みを優先的に行うことが大切か話し合う	・EUの統合による効果と課題をまとめた表				●	○ ●			●											
			(P.82～P.93) 第3節　アフリカ州	他民族が暮らすアフリカ(P.86~87)【A-3多文化共生、A-2文化交流】 「共生」和解と協調を進める南アフリカ共和国(P.87)【C-3平和、D-1歴史認識】 「共生」フェアトレードの取り組み(P.89)【B-1相互依存】 食料不足と国際機関による食料支援（テキスト、写真）(P.90)【B-1相互依存】 「環境」持続可能な発展への支援（生ごみを利用して緑化を進める日本人研究者の取り組み）(P.91)【C-2環境、B-1相互依存】 アフリカの抱える課題解決のための日本などの先進国の技術支援や開発援助、青年海外協力隊の活動（写真）(P.91)【C-4開発】		第3節　アフリカ州 1. 特定に産物に頼る経済に至った背景について、表の空欄を埋める 2. ①特定の産物に頼る経済になったりゆうについて、自然環境や歴史的な背景の面から説明。②アフリカ州では特定の産物に頼る経済が地域にどのような影響を与えているのか、地理的な見方・考え方を働かせて節の問いに対する答えを「国際価格」「食糧不足」の語句を使って説明。 3. ①モノカルチャー経済から脱却するにあたって妨げているものを考える。②モノカルチャーに依存しすぎないようにするためにはどのような取り組みを行うとよいか、課題の背景を踏まえて考える。③グループで、どのような取り組みを優先的に行うのが良いか、私たちにできる取り組みはないか、考える				○	●	● ● ○			●	●	●	○					砂漠の緑化に対する日本人研究者の取り組みのコラム（ニジェール） 日本政府から派遣された技術者（テキスト）	栽培指導をする青年海外協力隊の写真（ウガンダ）		食料不足に対する国際機関による食料支援（テキスト、写真） NGOによる保健・医療活動やインフラ整備などの支援（テキスト）
			(P.94～P.107) 第4節　北アメリカ州	世界中から移民が集まるアメリカ(P.99)【B-1相互依存、A-3多文化共生】 二つの公用語があるカナダ(P.99)【A-3多文化共生】 世界の人材が集まるシリコンバレー(P.103)【B-1相互依存】 中国に進出したアメリカのコーヒーチェーン店(P.104)【B-1相互依存】 持続可能な社会を実現するための課題(P.105)【C-4開発、C-2環境】		第4節　北アメリカ州 1. アメリカ合衆国の生活・文化の特色や世界に与えているえいきょうについて、図の空欄を埋める 2. ①アメリカ合衆国の産業がどのように発達してきたのか説明する。②アメリカ合衆国を中心に巨大な産業がはったつした結果、地域にどのような影響が生じているのか、地理的な見方・考え方を働かせて「適地適作」「大量生産方式」を使って説明する。 3. ①大量消費の生活様式にはどのような課題があるか考える。②持続可能な社会を実現するためには、どのようなことに注意するとよいか、大量消費の生活様式の課題を踏まえて考える。③グループで、どのような取り組みを優先的に行うことが大切か話し合う。					○ ●	● ● ●			○		●									
			(P.108～P.119) 第5節　南アメリカ州	「共生」ブラジルに渡った日本人(P.113)【A-3多文化共生、B-1相互依存】 ブラジルの開発と環境保全(P.116~117)【C-4開発、C-2環境】 違法な伐採を人工衛星から監視するしくみの導入に日本の技術の活用(P.117)【B-1相互依存】		第5節　南アメリカ州 1. 南アメリカ州における農地や鉱山の開発のマイナス面について、図を埋める。 2. ①鉱山開発と工業化・都市化にはどのような関係があるか考える。②南アメリカ州では、農地や鉱山の開発が進むことによってどのような影響が生じているか、地理的な見方・考え方を働かせて「熱帯林」「スラム」を使って説明する。 3. ①熱帯林の開発が進められている理由を考える。②熱帯林の保全と経済の発展を両立するためにはどのような取り組みを行うとよいか、「開発業者」「先住民」「ブラジル政府」のいずれかの立場で考える。③グループで、どのような取り組みを優先的に行うことが大切か話し合う。					●	○ ●			○		●								違法な伐採を人工衛星から監視するシステムへの日本の技術の活用（テキスト）	
			(P.120～P.129) 第6節　オセアニア州	「環境」地球温暖化による影響と危機(P.123)【C-2環境】 豪の多文化社会への歩み、小学校で日本語を学ぶ子どもたち（写真）(P.125)【A-3多文化共生】 アジアとの結び付きを強めるオセアニア(P.127)【B-1相互依存】		第6節　オセアニア州 1. オーストラリアにおける移民政策の変更後の他地域との関係について、図を埋める。 2. ①現在のオーストラリアにはどのような人々が暮らしているのか説明。②オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによってどのような影響が生じているのか、地理的な見方・考え方を働かせて「多文化社会」「アジア」を使って説明する。 3. ①多文化社会となっているオーストラリアでは、かつてどのような課題を抱えていたのか考える。②多文化社会を維持・発展させるためには、どのような取り組みを行うとよいか、「先住民」「移住してきた人々の子孫」「近年に移住してきた人」のいずれかの立場から考える。③グループで、どのような取り組みを優先的に行うことが大切か話し合う。					●	●			●											
	(ｲ) 人々の生活を基に地域的特色を大観し理解すること	世界の地理的な事象を身近に感じて、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 地域で見られる地球的課題の要員や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに注目して多面的・多角的に考察し表現すること	地球的課題を地域という枠組みの中で考察し、地球的課題の影響や要因を地域の広がりや地域内の結びつきから特徴付けられる地域的特色と関連付ける																								
C 日本の様々な地域																										
(1) 地域調査の手法 場所などに着目して、次の事項を身につける		地位調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的技能を身につけられるようにする 学校周辺の地域の地理的な事象を学習対象とする	(P.130～P.141) 第3部　日本のさまざまな地域																							
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること	学校周辺という直接経験地域にて、観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点、および観察や野外調査、地図や統計、警官写真などの資料を活用する文献調査の方法により、地域調査の結果を地図や図表、写真などにて表現すること	第1章　身近な地域の調査																							
	(ｲ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけること	資料から地域で見られる事象や特色など必要な情報を的確に読み取る技能、地域で見られる事象を地図や図表などに表現する機能を中心に、他教科等で身につけた技能の活用も視野に調査手法をして身につける																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 対象となる場所の特徴などに注目して、適切な主題や調査となるように調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること	主題を設定し、調査の対象となる地理的な事象を見出し調査に基づき資料を作るといった活動を通して、調査の手順や方法を考察、また表現できるようにすること																								

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載事項	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
(2) 日本の地域的特色と地域区分 項目ごとに分布や地域などの着目して、以下の事項を身につける		我が国の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解できるようにする	（P.142～P.169） 第2章　日本の地域的特色																							
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 日本の地形や気候の特色、国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること	日本全体で見ると我が国は環太平洋造山帯に属している、国土は海に囲まれ多くの島々から構成されていること、日本全体の視野から日本の自然環境を大きく捉えることを意味する		資源を輸入に頼る日本(P.156)【B-1相互依存】 持続可能な社会に向けて、限りある資源を将来にわたって有効に活用し、世界の国々と協力して環境に配慮(P.157)【C-4開発、C-2環境】 日本人の海外旅行者数と日本を訪れる外国人旅行者の推移、が黒人向けの観光案内所(P.164)【B-1相互依存】	分布 地域全体の傾向	1.「主に水力発電所が分布する地域」と「主に火力発電所が分布する地域」で地域区分を行った際、「主に火力発電所が分布する地域」における分布の特徴にはどのようなことがあるか。 2. 水力発電所・火力発電所の分布を基にした地域区分と、自然環境および交通には、そのような関連があるか、気づいたことを書き出す。 3. 項目の異なる地図を二つ選び、共通点や相違点など、分布の特徴に注目して見比べてみる。そこからみえてくる日本の特色を話し合う。	地図					● ●			○		●									
	(ｲ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、人口に関する特色を理解すること	日本は世界に類を見ない速さで少子化、高齢化が進んだことに伴う課題に直面していること、人口分布を見ると不均等や分布が見られることを意味する																								
	(ｳ) 資源・エネルギー利用の現状、国内産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること	エネルギー資源や鉱産資源に恵まれていないため輸入に依存していること、自然及び社会的条件によって産業の地域的分業が進み変容していること、エネルギー問題を抱えた国であるがその現れ方には地域差がみられることを意味する																								
	(ｴ) 日本と世界との交通・通信網の整備状況、陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色を理解すること	交通網、情報通信ネットワークなどの整備が進んでいること、海外との物流においては輸送対象によって輸送手段の違いが見られること、日本国内の時間的な距離が短縮されていること、物資の国際間移動が活発であること、結び付きについては地域差があることなどを意味する																								
	(ｵ) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、国土の特色を大観し理解すること	上記各項目について分布図を作成するなどして日本全体の大まかな地域的特色を捉え、特色ある地域から日本が構成されていることを大観し理解できるようにすることを意味する																								
	(ｶ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分する技能を身につけること	地域区分には、商圏、都市圏など機能的に結び付く範囲によって区分したものなど、行政区分に基づかない地域区分もあることを意味する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 各項目について、それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して多面体・多角的に考察し、表現すること	ある指標を基に他と異なる共通した性質をもつ等質地域としての空間的なまとまりを見いだすことを意味する																								
	(ｲ) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	複数の分布図や地域区分を重ね合わせて関連付け、複数の項目による新たな地域区分を行い、そこで見出された地域の意味を考察し、特色を表現できるようにすることを意味する																								
(3) 日本の諸地域 考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに注目して、以下の事項を身につける		日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにすることが求められる	（P.170～P.284） 第3章　日本の諸地域																							
ア 知識の習得	(ｱ) 幾つかに区分した日本の地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること	地域の特色を端的に示す地理的な事象を選択し、それを中核として内容を構成する	第1節　九州地方 第2節　中国・四国地方 第3節　近畿地方 第4節　中部地方 第5節　関東地方 第6節　東北地方 第7節　北海道地方	香港のスーパーで売られる福岡産いちご「あまおう」（写真）(P.179)【B-1相互依存】 中国や韓国などの近隣国との交流、韓国や中国からのクルーズ客船からバスに乗り換える観光客（写真）(P.180)【B-1相互依存】 琉球王国のアジアとの交流の歴史(P.183)【D-1歴史認識、A-2文化交流】 「共生」世界とつながる平和記念都市、広島(P.193)【C-3平和、D-1歴史認識】 海外の見本市に出展した「今治タオル」（写真）(P.195)【B-1相互依存、A-1文化理解】 「共生」近畿地方と朝鮮半島との結び付き(P.209)【A-3多文化共生、A-2文化交流】 「共生」多文化の共生を目指す大泉町、日系ブラジル人向けにブラジルの食材が売られているスーパー（写真）(P.247)【A-3多文化共生】 北海道の増加する外国人観光客(P.280)【B-1相互依存、A-2文化交流】	ほかの場所への影響、地域全体の傾向			○	○ ○ ○	● ●	● ● ● ●				●		● ○								
	(ｲ) 特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解すること	中核とした地理的な事象は、他の事象とも関わりあって成り立っていることに着目して、それらを有機的に関連図けることで動態的に取り扱い、地域的特色や地域の課題を捉えるようにすること																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 日本の諸地域について、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	①自然環境を中核とした考察とは、地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、生活・文化・産業と関連づける ②人口・都市を中核とした考察とは、人口の分布や胴体、都市機能に関する特色ある事象を生活・文化・産業と関連づける ③産業を中核とした考察とは、産業に特色のある事象を中核として、そこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連づける ④交通・通信に関する特色ある事象を中核として、そこでの産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連づける ⑤地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史、環境問題や環境保全の取組、地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、地域的特色や地域の課題を捉える																								
(4) 地域の在り方 空間的相互依存作用や地域などに着目して、次の事項を身につける		課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現する手法を理解できるようにする	（P.285～P.295） 第4部　地域の在り方 第1章　地域の在り方																							
ア 知識の習得	(ｱ) 地域の実体や課題解決のための取組を理解すること	地域においてどのような地理的な事象が見られるのか、「地域の在り方」をめぐってどのような課題解決のための議論や取り組みが行われているなどについて理解する																								
	(ｲ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること	課題の要因について文章や地図、統計、モデル図などを用いて他者に説明したり、課題解決策について根拠に基づいて個人の意見を述べたり多様な意見を集団として集約したりすることを意味する																								

思考・判断・表現力等の育成	(ｱ) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、それで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること	地理的な事象に関わる課題に関し、「地域の結び付き」や「地域の変容」、「持続可能性」などに着目して「構想」することが大切																								

教科書における国際教育関連記載事項抜き出しリスト

社会・地理的分野

⇒地理的な見方・考え方：「位置や分布」、「場所の特徴」、「人と自然の関係」、「ほかの場所への影響/地域どうしのつながり」、「地域全体の傾向」

※教科書記載事項の列の【】内は、その抜き出したトピックが当てはまる「国際理解教育の実践の枠組み」の分類を表す。その中で下線がついているものが主な分類、下線がないものは付随的な分類となる。

●：教科書記載のトピックが主に当てはまる分類（一つのトピックにつき一つのみ）
○：教科書記載のトピックが関連のある付随的分類（一つのトピックに何もつかない場合もあれば、複数つく場合もある）

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材	A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択			JICA関連記載				その他
								1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加	国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
巻頭				持続可能な社会の実現に向けて(巻頭P.3~4)【C-4開発、C-1人権、C-2環境、C-3平和】									○	○	○	●								
A 世界と日本の地域構成																								
(1) 地域構成 地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、以下の事項を身につける		位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらい。学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにすることが求められる。	（P.6~32） 第1編　世界と日本の姿		位置、分布																			
ア 知識の習得	(ｱ) 緯度と経度、大陸と海洋の分布などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること	緯度と経度については、地球上の位置を緯度・経度を用いて表せるようにすることを意味。 大陸と海洋の分布については、各種地球儀や世界全図などを活用して、地球規模の位置関係を捉える手掛かりとなる六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を理解できるようにする。 主な国々の名称と位置については、地球上の位置関係を捉え、表現するための手掛かりとなる国名の知識を理解できるようにする。	（P.8~19） 第1章　世界の姿	領土問題（写真）(P.6)【C-3平和、D-1歴史認識】 国旗の由来と国の特色(P.11)【A-1文化理解】		世界はどのような姿をしているのか、「位置」や「分布」に着目して、自分の言葉でまとめる		●						●		○								
	(ｲ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること	我が国の国土の位置については、経度と緯度を使って国土の絶対的位置を捉えること、様々な相対的位置を取り上げることを意味する。 世界各地との時差については、日本との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解できるようにすることを意味する。 領域の範囲や変化とその特色については、領土だけでなく、領海、領空から成り立っており、それらが一体的な関係にあることを捉えることを意味している。	（P.20~32） 第2章　日本の姿	北方領土・竹島と領土問題(P.26~27)【C-3平和、D-1歴史認識】		日本はどのような姿をしているのか、「位置」や「分布」などに着目して、自分の言葉でまとめる									●		○							
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで違いを考察したり、世界の主な国が日本とどのような位置関係にあるかを考察したりするなどの活動を通じて、地球上の位置関係や形状を正しく捉える学習を行うことが考えられる。																						
	(ｲ) 日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、我が国の国土は多数の島々からなり、広大な広がりを有する海洋国家としての特色を持っていることなどを考察できるように、日本の略地図に島々を書き加えたり、領海や経済水域を含めた面積で比較したりすることが考えられる。																						
B　世界の様々な地域																								
(1) 世界各地の人々の生活と環境 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、次の事項を身につける		世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。例えば、気候や植生などの自然的な側面や、集落や道路といった社会的な側面から僧都や特徴を捉えることなどが考えられる。	（P33~139） 第2編　世界のさまざまな地域		人と自然環境との関係（相互依存関係）																			
ア 知識の習得	(ｱ) 人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすることを理解すること	人々の生活が自然的条件のみではなく社会的条件の違いにも留意すること。さらに、人間社会の営みが自然環境に影響を与えることもあり、相互は関係し合っていることに留意すること。		寒帯の気候と暮らし(P.36~37)【A-1文化理解、C-2環境】 冷帯（亜寒帯）の気候と暮らし(P.38~39)【A-1文化理解、C-2環境】 温帯の気候と暮らし(P.40~41)【A-1文化理解、C-2環境】 乾燥帯の気候と暮らし(P.42~43)【A-1文化理解、C-2環境】 熱帯の気候と暮らし(P.44~45)【A-1文化理解、C-2環境】 高山気候の暮らし(P.46~47)【A-1文化理解、C-2環境】		人々の暮らしは、なぜ場所によって異なっているのか、人間と自然環境との関係（相互依存作用）などに着目して、自分の言葉でまとめる	表	● ● ● ● ● ●						○ ○ ○ ○ ○ ○										
	(ｲ) 世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、主な宗教の分布も理解すること	世界の人々の衣食住などの生活が主な学習対象。また、同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に着目し、人々の生活が可変的なものであることに気づく		世界の宗教と人々の暮らし(P.50)【A-3多分共生、A-1文化理解】				○		●														
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 人々の生活の特色やその変容の理由を、自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	世界各地における人々の生活の特色がなぜ生み出されているのか、生活における変容がなぜ生じたのか、自然及び社会的条件などと関連付けることを通して、地理的な事象の意味や事象間の関係に着目すること																						
(2) 世界の諸地域 各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などの着目して、次の事項を身につける		空間的相互依存作用や地域に関わる視点に着目して、世界各地域で見られる地球的課題の要因や影響をその地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察して表現する力の育成。また、地域的特色やそこで見られる地球的課題と地域的特色の関係を理解できるようにする。	（P.54~139） 第2章　世界の諸地域	アメリカのリトルトーキョー（写真）(P.54)【A-3多文化共生、B-1相互依存】 青年海外協力隊の活動（写真）(P.54)【B-1相互依存、A-2文化交流】 SDGとは(P.55)【C-4開発】	地域のつながり（空間的相互依存作用）				○	●	○ ●					●								

	学習指導要領	学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識の習得	(ｱ) 顕在化している地球的課題は、地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解すること	グローバル化する国際社会において、人類全体で取り組まなければならない課題、例えば持続可能な開発目標(SDGs)などの課題を取り上げ、普遍的な課題ではあるが地域的特色により要因や影響、対処の仕方などが異なることを意味する	P.56~ アジア州	東南アジアにある日本企業の工場（写真）(P.64)【B-1相互依存】 東南アジアに輸出される日本の鉄道(P.65)【B-1相互依存】 サッカーボールの生産における児童労働問題と国際機関の支援（コラム）(P.67)【C-1人権、B-1相互依存】 ICT人材の国際的な移動（コラム）(P.67)【B-1相互依存】		・アジア内でのほかの地域やほかの州との結び付きに着目して、アジア州はなぜ急速に経済が成長してきたのか自分の言葉で説明する						● ● ○ ●		●										青年海外協力隊の活動（写真）		
			P.74~ ヨーロッパ州	統合するヨーロッパ(P.77)【A-3多文化共生、B-1相互依存】 EU間の国境を超える人の移動(P.79)【B-1相互依存】 ヨーロッパの環境へのとりくみ(P.80)【C-2環境】 EUと移民問題（テキスト、地図）(P.83)【C-1人権、A-3多文化共生、B-1相互依存】		・統合によって生まれる、それぞれの地域での変化やほかの州との結び付きに着目して、ヨーロッパ州ではなぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのか、自分の言葉で説明する					●	○ ● ○		●	●											
			P.88~ アフリカ州	日本の技術支援（伝統的な工法で作られる上総掘りの井戸、理科を教える日本人）（写真）(P.91)【B-1相互依存、A-2文化交流】 難民問題の解決に取り組む非政府組織（NGO）(P.94)【C-1人権】 日本政府やNGOによる資金や技術の援助、青年海外協力隊の紹介(P.95)【B-1相互依存、A-2文化交流、C-4開発】		・ヨーロッパや日本などほかの地域との関係にも着目して、アフリカ州ではなぜ国際的な支援が必要とされているのか、自分の言葉で説明する				○ ○		● ●		●			○					日本の伝統的な工法で造られる上総掘りの井戸の写真（ケニア） 日本政府によるインフラ整備や学校、病院の建設、稲作の普及に対する資金や技術の援助（本文）	アフリカの学校で理科を教える日本人の写真（マラウイ）	アフリカで食事の改善に取り組む青年海外協力隊の紹介（コラム）		難民問題の解決に取り組むNGO
			P.100~ 北アメリカ州	アメリカのICT分野で働く多くのアジア人(P.107)【B-1相互依存】 アジア系移民の増加(P.108)【B-1相互依存、A-3多文化共生】		・アメリカ合衆国と北アメリカ州の国々との関係や、ほかの州との関係といったさまざまな結び付きに着目して、北アメリカ州では、なぜアメリカ合衆国への移民が多く見られるのか、自分の言葉で説明する				○		● ●													
			P.114~ 南アメリカ州	自然環境の保護活動(P.118~119)【C-2環境】 品種の改良や土地の改良に対するブラジルと日本の協力(P.120)【B-1相互依存】 持続可能な開発に向けた自然環境保護と経済発展両立(P.121)【C-2環境】 サンパウロの日本人街での七夕まつり（写真）(P.122)【A-3多文化共生、B-1相互依存】		・開発と森林の減少に関する、ほかの州の国々との関係に着目して、南アメリカ州ではなぜ森林が減少しているのか、自分の言葉で説明する				●		● ○			● ●										
			P.126~ オセアニア州	アジアとの結びつきの強まり(P.129~131)【B-1相互依存】 パラオに受けつがれる日本語(P.133)【D-1歴史認識、A-1文化理解】 豪の多文化社会への取り組み(P.133)【A-3多文化社会】 ツバルの直面する環境問題(P.134)【C-2環境】		・オセアニア州とほかの州との結び付きの変化の理由に着目して、オセアニア州ではなぜアジアとの結び付きが強くなってきたのか、自分の言葉でまとめる			○		●	●			●			●							
	(ｲ) 人々の生活を基に地域的特色を大観し理解すること	世界の地理的な事象を身近に感じて、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 地域で見られる地球的課題の要員や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに注目して多面的・多角的に考察し表現すること	地球的課題を地域という枠組みの中で考察し、地球的課題の影響や要因を地域の広がりや地域内の結びつきから特徴付けられる地域的特色と関連付ける																								
C 日本の様々な地域																										
(1) 地域調査の手法 場所などに着目して、次の事項を身につける		地位調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的技能を身につけられるようにする 学校周辺の地域の地理的な事象を学習対象とする	（P.140~269） 第3編　日本のさまざまな地域																							
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること	学校周辺という直接経験地域にて、観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点、および観察や野外調査、地図や統計、警官写真などの資料を活用する文献調査の方法により、地域調査の結果を地図や図表、写真などにて表現すること																								
	(ｲ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけること	資料から地域で見られる事象や特色など必要な情報を的確に読み取る技能、地域で見られる事象を地図や図表などに表現する機能を中心に、他教科等で身につけた技能の活用も視野に調査手法をして身につける																								
イ 思考力・表現力等の習得	(ｱ) 対象となる場所の特徴などに注目して、適切な主題や調査となるように調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること	主題を設定し、調査の対象となる地理的な事象を見出し調査に基づき資料を作るといった活動を通して、調査の手順や方法を考察、また表現できるようにすること																								
(2) 日本の地域的特色と地域区分 項目ごとに分布や地域などの着目して、以下の事項を身につける		我が国の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解できるようにする	（P.156~182） 第2章　日本の地域的特色と地域区分		地域、分布																					

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 日本の地形や気候の特色、国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること	日本全体で見ると我が国は環太平洋造山帯に属していること、国土は海に囲まれ多くの島々から構成されていること、日本全体の視野から日本の自然環境を大きく捉えることを意味する		エネルギー資源の多くを輸入にたよる日本(P.170)【B-1相互依存】								●														
	(ｲ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、人口に関する特色を理解すること	日本は世界に類を見ない速さで少子化、高齢化が進んだことに伴う課題に直面していること、人口分布を見ると不均等や分布が見られることを意味する																								
	(ｳ) 資源・エネルギー利用の現状、国内産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること	エネルギー資源や鉱産資源に恵まれていないため輸入に依存していること、自然及び社会的条件によって産業の地域的分業が進み変容していること、エネルギー問題を抱えた国であるがその現れ方には地域差がみられることを意味する																								
	(ｴ) 日本と世界との交通・通信網の整備状況、陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色を理解すること	交通網、情報通信ネットワークなどの整備が進んでいること、海外との物流においては輸送対象によって輸送手段の違いが見られること、日本国内の時間的な距離が短縮されていること、物資の国際間移動が活発であること、結び付きについては地域差があることなどを意味する																								
	(ｵ) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、国土の特色を大観し理解すること	上記各項目について分布図を作成するなどして日本全体の大まかな地域的特色を捉え、特色ある地域から日本が構成されていることを大観し理解できるようにすることを意味する																								
	(ｶ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分する技能を身につけること	地域区分には、商圏、都市圏など機能的に結び付く範囲によって区分したものなど、行政区分に基づかない地域区分もあることを意味する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 各項目について、それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して多面体・多角的に考察し、表現すること	ある指標を基に他と異なる共通した性質をもつ等質地域としての空間的なまとまりを見いだすことを意味する																								
	(ｲ) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	複数の分布図や地域区分を重ね合わせて関連付け、複数の項目による新たな地域区分を行い、そこで見出された地域の意味を考察し、特色を表現できるようにすることを意味する																								
(3) 日本の諸地域 考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに注目して、以下の事項を身につける		日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにすることが求められる	(P.183~269) 第3章　日本の諸地域																							
ア 知識の習得	(ｱ) 幾つかに区分した日本の地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること	地域の特色を端的に示す地理的な事象を選択し、それを中核として内容を構成する		世界とつながる広島県(P.201)【C-3平和、D-1歴史認識】 コンピューターで村おこしとともにエンジニアの国内外からの移住(P.205)【B-1相互依存、A-3多文化共生】 世界から地域に来訪、地域から世界に発信(P.205)【B-1相互依存、A-2文化交流】 東京オリンピック・パラリンピックの開催(P.236,244)【A-2文化交流】 ブラジル人が利用するスーパーマーケット（写真）(P.240)【A-3多文化共生】 パリの茶の専門店で売られる南部鉄器（写真）、世界市場と結び付いた伝統工芸(P.245,250)【B-1相互依存、A-1文化理解】 根室市に見られるロシア語の標識（写真）(P.261)【A-3多文化共生】 外国人観光客によって変化するニセコ地域（写真）、外国人宿泊者の内訳(P.265)【B-1相互依存、A-2文化交流】		・九州地方の自然環境と、それに対する人々の工夫に着目して、九州地方では、なぜ自然環境の影響が大きい中で産業や生活・文化が発達してきたのか、自分の言葉でまとめる ・中国・四国地方での他地域との結び付き（空間的相互依存作用）に着目して、中国・四国地方では、なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのか、自分の言葉でまとめる ・近畿地方での地域の変化とその背景や理由にも着目して、近畿地方ではなぜ都市や農村の姿が変化してきたのか、自分の言葉でまとめる ・中部地方で発展してきた産業の背景にあるそれぞれの地域の自然環境や人々の努力に着目して、中部地方ではなぜ各地に個性豊かな産業が発達しているのか、自分の言葉でまとめる ・関東地方での人々の動きに着目して、関東地方ではなぜほかの地域との強い結び付きが見られるのか、自分の言葉でまとめる ・東北地方の生活・文化の背景にある自然環境や産業に着目して、東北地方ではなぜ伝統的な生活・文化を守り継承する動きが見られるのか、自分の言葉でまとめる ・北海道地方の農業や観光業の様子やその背景にある自然環境に着目して、北海道地方ではなぜたくさんの農作物を出荷したり観光客をひき付けたりしているのか、自分の言葉で説明する		○	○ ● ○	○ ● ●	● ● ● ●				●		○								
	(ｲ) 特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解すること	中核とした地理的な事象は、他の事象とも関わりあって成り立っていることに着目して、それらを有機的に関連図けることで動態的に取り扱い、地域的特色や地域の課題を捉えるようにすること																								

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 日本の諸地域について、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	①自然環境を中核とした考察とは、地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、生活・文化・産業と関連づける ②人口・都市を中核とした考察とは、人口の分布や胴体、都市機能に関する特色ある事象を生活・文化・産業と関連づける ③産業を中核とした考察とは、産業に特色のある事象を中核として、そこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連づける ④交通・通信に関する特色ある事象を中核として、そこでの産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連づける ⑤地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史、環境問題や環境保全の取組、地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、地域的特色や地域の課題を捉える																							
(4) 地域の在り方 空間的相互依存作用や地域などに着目して、次の事項を身につける		課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現する手法を理解できるようにする																								
ア 知識の習得	(ｱ) 地域の実体や課題解決のための取組を理解すること	地域においてどのような地理的な事象が見られるのか、「地域の在り方」をめぐってどのような課題解決のための議論や取り組みが行われているなどについて理解する		地球規模の課題とSGDs(P.270)【C-4開発】													●								
	(ｲ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること	課題の要因について文章や地図、統計、モデル図などを用いて他者に説明したり、課題解決策について根拠に基づいて個人の意見を述べたり多様な意見を集団として集約したりすることを意味する																							
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、それで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること	地理的な事象に関わる課題に関し、「地域の結び付き」や「地域の変容」、「持続可能性」などに着目して「構想」することが大切																							

教科書における国際教育関連記載事項抜き出しリスト

社会・地理的分野

⇒地理的な見方・考え方：「位置や分布」、「場所の特徴」、「人と自然の関係」、「ほかの場所への影響/地域どうしのつながり」、「地域全体の傾向」

※教科書記載事項の列の【】内は、その抜き出したトピックが当てはまる「国際理解教育の実践的枠組み」の分類を表す。その中で下線がついているものが主な分類、下線がないものは付随的な分類となる。

●：教科書記載のトピックが主に当てはまる分類（一つのトピックにつき一つのみ）
○：教科書記載のトピックが関連のある付随的分類（一つのトピックに何もつかない場合もあれば、複数つく場合もある）

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材	A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択			JICA関連記載				その他
								1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加	国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
A 世界と日本の地域構成																								
巻頭																								
(1) 地域構成 地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、以下の事項を身につける		位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらい。学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにすることが求められる。	(P9-27) 第1編　世界と日本の地域構成																					
ア 知識の習得	(ｱ) 緯度と経度、大陸と海洋の分布などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること	緯度と経度については、地球上の位置を緯度・経度を用いて表せるようにすることを意味。 大陸と海洋の分布については、各種地球儀や世界全図などを活用して、地球規模の位置関係を捉える手掛かりとなる六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を理解できるようにする。 主な国々の名称と位置については、地球上の位置関係を捉え、表現するための手掛かりとなる国名の知識を理解できるようにする。	(P9-19) 第1章　世界の地域構成	タピオカ飲料から見える世界。私たちの食生活は世界のさまざまな国や地域と結びついている。(P10)【B-1相互依存】 国旗・国境・国名の成り立ちや比較。P19 ベルギー・オランダ・ドイツ国境が交わる地点、インド・パキスタンの境界、検問所で行われる儀式（写真）(P18)【A-1文化理解】				●		●													
	(ｲ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること	我が国の国土の位置については、経度と緯度を使って国土の絶対的位置を捉えること、様々な相対的位置を取り上げることを意味する。 世界各地との時差については、日本との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解できるようにすることを意味する。 領域の範囲や変化とその特色については、領土だけでなく、領海、領空から成り立っており、それらが一体的な関係にあることを捉えることを意味している。	(P20-27) 第2章　日本の地域構成	領土をめぐる問題、沖ノ鳥島(P23-24)【C-3平和】【D-1歴史認識】 根室のビザなし交流（写真）(P24)【A-2文化交流】					●					●		○							
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで違いを考察したり、世界の主な国が日本とどのような位置関係にあるかを考察したりするなどの活動を通じて、地域上の位置関係や形状を正しく捉える学習を行うことが考えられる。																						
	(ｲ) 日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、我が国の国土は多数の島々からなり、広大な広がりを有する海洋国家としての特色を持っていることなどを考察できるように、日本の略地図に島々を書き加えたり、領海や経済水域を含めた面積で比較したりすることが考えられる。																						
B　世界の様々な地域																								
(1) 世界各地の人々の生活と環境 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、次の事項を身につける		世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。例えば、気候や植生などの自然的な側面や、集落や道路といった社会的な側面から僧都や特徴を捉えることなどが考えられる。	(P28-132) 第2編　世界のさまざまな地域	P28-46																				
ア 知識の習得	(ｱ) 人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすることを理解すること	人々の生活が自然的条件のみではなく社会的条件の違いにも留意すること。さらに、人間社会の営みが自然環境に影響を与えることもあり、相互は関係し合っていることに留意すること。	(P28-46) 第1章　世界の人々の生活と環境	奈良の複数言語看板（写真）(P28)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】 熱帯地域と人々の生活（写真・分布図）(P32-33)【A-1文化理解】【C-2環境】 乾燥帯地域と人々の生活（写真・分布図）(P34-35)【A-1文化理解】【C-2環境】 温帯地域と人々の生活（写真・分布図）(P36-37)【A-1文化理解】【C-2環境】 冷帯・寒帯地域と人々の生活（写真・分布図）(P38-39)【A-1文化理解】【C-2環境】 高地と人々の生活（写真・分布図）(P40-41)【A-1文化理解】【C-2環境】		P46 第1章まとめ ・世界の都市の気温・降水量のグラフを参照・比較し、東京の気候の特色を文章でまとめる。 ・イスラム教の地域分布と、自然環境や言語の広がりとの間にどのような関係が見られるか文章にまとめる。 ・熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯・寒帯の各気候帯の特徴と人々の生活の工夫をまとめる。それをもとに、気候や暮らし等で共通する点を話し合う。	世界地図（白地図）、気温／降水量グラフ、教科書P32-39記載の文章及び写真	● ● ● ● ●		○	●			○ ○ ○ ○ ○										
	(ｲ) 世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、主な宗教の分布も理解すること	世界の人々の衣食住などの生活が主な学習対象。また、同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に着目し、人々の生活が可変的なものであることに気づく		世界の言語と民族。国家と言語・民族の関わり。インド紙幣・看板の多言語記載（写真）、言語分布図(P42-43)【A-1文化理解】【A-3多文化共生】 世界の宗教や慣習。各宗教の写真、分布図(P44-45)【A-1文化理解】【A-3多文化共生】				○ ○		● ●													
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 人々の生活の特色やその変容の理由を、自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	世界各地における人々の生活の特色がなぜ生み出されているのか、生活における変容がなぜ生じたのか、自然及び社会的条件などと関連付けることを通して、地理的な事象の意味や事象間の関係に着目すること																						
(2) 世界の諸地域 各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などの着目して、次の事項を身につける		空間的相互依存作用や地域に関わる視点に着目して、世界各地域で見られる地球の課題の要因や影響をその地域の特色と関連付けて多面的・多角的に考察して表現する力の育成。また、地域の特色やそこで見られる地球の課題と地域の特色の関係を理解できるようにする。	(P47-128) 第2章　世界の諸地域	P47-128																				
ア 知識の習得	(ｱ) 顕在化している地球的課題は、地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解すること	グローバル化する国際社会において、人類全体で取り組まなければならない課題、例えば持続可能な開発目標(SDGs)などの課題を取り上げ、普遍的な課題ではあるが地域的特色により要因や影響、対処の仕方などが異なることを意味する	P48-　①アジア州	えびの加工工場で働く労働者（ベトナム）、ジャカルタで活躍する日本の古い鉄道車両、日系の工場でスクーターを組み立てる労働者（インド）（写真）(P49)【B-1相互依存】 アジアで学習する地球的課題「人口問題」、P54中国 一人っ子政策の転換（テキスト・写真）(P49)【C-1人権】 韓国と日本の交流(P53)【A-2文化交流】【B-1相互依存】 中国の「世界の工場・市場」化、日系企業で働くシャオメイさん（コラム）(P56)【B-1相互依存】 深刻化する環境問題（コラム）、大気汚染でかすむ町（写真）(P57)【C-2環境】 外国との貿易・ASEAN地域内の貿易、貿易で結びつく日本とアジア各国（地図）、ベトナムに進出する日本の企業（写真）(P59)【B-1相互依存】 インドのICT産業、世界の企業の集結・業務請負(P60)【B-1相互依存】 バングラデシュの社会問題（コラム）。農村の低所得、衛生・教育問題。解決のための少額貸付、国際協力による社会インフラ整備(P61)【C-1人権】【C-4開発】 （コラム）シンガポール：外国企業誘致、観光大国(P64)【B-1相互依存】		P65 第2章①まとめ ・アジアの農業（中国・東南アジア・南アジア）の特徴をまとめ、それぞれの共通点・異なる点をあげる。 ・アジアの工業（韓国・中国）の発展について、それぞれ特色をまとめる。 ・サウジアラビアと日本の貿易について調べてまとめる。 ・アジア各地でなぜ経済が発展したのか分担して調べ、特徴をまとめる。その結果をもとに、経済発展に欠かせないものは何かを話し合う。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。		○		● ● ● ● ● ●		● ● ●	● ○			○								道路や橋、病院や学校、避難施設建設の国際協力も進められている(P61)
			P66-　②ヨーロッパ州	ヨーロッパの統合、移動する人々と地域格差(P70)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】【C-1人権】 環境問題への関心の高まり、再生可能エネルギーへの期待、写真（風力発電、酸性雨、自転車専用レーン、バイオマス発電）、ヨーロッパで学習する地球的課題「環境問題」(P76)【C-2環境】 ロシアと日本の繋がり、領土問題(P79)【A-1文化理解】【B-1相互依存】【D-1歴史認識】 （コラム）EU統合の課題。カタルーニャ独立運動。ヨーロッパを悩ます移民・難民流入(P80)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】【C-1人権】		P81 第2章②まとめ ・ヨーロッパ連合の加盟国が拡大するにつれて大きな問題になっていることを文章にまとめる。 ・ヨーロッパの地中海式農業と混合農業について、それぞれ生産されている作物や主な国・地域を調べて表にまとめる。 ・ヨーロッパで進む再生可能エネルギーについて、各国でどのような発電が導入されているか、1か国について調べて文章にまとめる。 ・言葉・習慣が異なる人たちと社会生活を送るために、どのような工夫が必要か、意見を交換する。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。	○		●	○ ● ○		○ ●	● ●			○								

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識の習得			P82- ③アフリカ州	独立後の歩みと国づくりの努力（コラム）。貧困・飢餓、難民、国連などによる援助活動(P85)【C-1人権】【C-3平和】【C-4開発】 子供の労働禁止、フェアトレード。ケニアのバラはどこへ行く？（コラム）(P86)【B-1相互依存】【C-1人権】 農業の発展と海外からの支援。人口・食料問題がある中、日本など各国による援助が進む。青年海外協力によるネリカ（稲の品種）の普及支援。（P83 アフリカで学習する地球的課題「人口・食料問題」）(P87)【C-1人権】【C-4開発】 産業の多様化・インフラ整備や教育の必要性、持続可能な発展に向けた技術支援・経済援助の必要性、電柱を設置する日本人技師（写真）、（国境なき医師団による医療援助活動（写真）P82）(P89)【C-1人権】【C-4開発】 （コラム）アフリカの歩みと課題。植民地時代、独立後の紛争、公用語【C-1人権】【D-1歴史認識】(P90)		P91 第2章③まとめ ・サヘルの砂漠化が進む原因についてまとめる。 ・アフリカの農業の課題について、カカオ農家を例に、なぜ収入が少ないのか文章にまとめる。 ・アフリカの自立のための援助について、どのようなものが行われているかまとめる。 ・アフリカに求められている支援は何か、貿易や技術の面から「持続可能な発展」をテーマに話し合う。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。					●		● ○ ○ ○ ○		○	○ ● ●	●				電柱を設置する日本人技師(ガーナ、2014年)(P89)		青年海外協力によるネリカ（稲の品種）の普及支援(シエラレオネ、2010年)(P87)		国境なき医師団による医療援助活動(P82) 各国や国連支援によるサヘルの砂漠化防止の取組み(P85) 国連などによる紛争解決、食料、医療、教育などの援助活動(P85) 各国による農業発展支援
			P92- ④北アメリカ州	世界を動かす多国籍企業、世界中の生産・販売拠点、技術貿易(P99)【B-1相互依存】 アメリカ・カナダにおける多民族共存とその課題(P102)、ケベック州の英仏2言語併記のゴミ箱（写真）(P103)、（北アメリカで学習する地球的課題「多民族の共存の問題」、さまざまな民族が学ぶ高校（写真）(P93)）【A-3多文化共生】【B-1相互依存】		P105 第2章④まとめ ・資料をもとに、日米の農業・食生活について比較し、わかることをまとめる。 ・米国に本社がある多国籍企業を一つ選び、世界でどのような経済活動をしているか調べてまとめる。 ・米・カナダの成り立ちの特徴をまとめる。それをもとに、なぜ活力ある多様で先端的な産業が根付いてきたのか、理由を話し合う。	日米の国土に占める農地割合、農民一人当たりの農地面積、1日一人当たりのカロリー消費量の比較表				●	● ○														
			P106- ⑤南アメリカ州	多文化社会が根付く南アメリカ、スポーツ・カーニバル・日本等アジアからの移民(P111)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】 熱帯雨林伐採など環境破壊の深刻化、環境に配慮した持続可能な開発の必要性、世界の森林面積の変化（地図）、都市人口問題(P115)（南アメリカで学習する地球的課題「環境問題・都市問題」(P107)）(P112)【C-1人権】【C-2環境】 日系人の花田さんの話、アグロフォレストリー（数種類の農作物や樹木を混ぜて植え、安定収入を得ながら森林を保全する農法）とJICAの支援(P113)【C-2環境】【C-4開発】 （コラム）日系移民の歴史、国境を越えた移動の歴史、リベルダージの七夕祭り（写真）(P116)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】		P117 第2章⑤まとめ ・南米各国（アルゼンチン・ベネズエラ・ペルー）の民族構成の特色を文章でまとめる。 ・南米各国で、都市へ人口が集中する理由を調べてまとめる。 ・上記をもとに、都市の人口増加で生じている問題点を整理し、どうすれば解決できるのか話し合う。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。				● ○	○ ●		○	● ○		●									アグロフォレストリーとJICAの援助(P113)
			P118- ⑥オセアニア州	サモアの人々の暮らし、サモアの中学生ティナさん（コラム）出稼ぎ者・移民からの送金、外国からの援助、日本の援助で出来た道路(P121)【B-1相互依存】【C-4開発】 先住民と共に暮らす社会（コラム）、失いかけた文化・言語の尊重。マオリの人（写真）、アボリジニの人々（写真）、（オセアニアで学習する地球的課題「多民族の共存の問題」(P119)）(P123) 白豪主義から多文化主義への転換(P124)【A-3多文化共生】【C-1人権】 日本との関係発展に向けた努力。太平洋の島々と日本との友好・協力関係の構築(P126)、太平洋・島サミット、パラオ・パプアニューギニア、（日本語を学ぶ生徒（写真）(P119)）(P125)【A-1文化理解】【B-1相互依存】【D-1歴史認識】		P127 第2章⑥まとめ ・統計資料からシドニーの気温と降水量のグラフを作る。東京のグラフと比較してわかることを書き出す。 ・オーストラリアと他地域との結びつきの変化について、1970年代ごろまでとそれ以降の2つの時期に分けてまとめる。その際「貿易」「人々の移動」の項目ごとに整理する。 ・オーストラリアの移民政策が変化してきた理由についてまとめる。それをもとに、他地域との関係を深めるためにはどのような考え方や工夫が必要か話し合う。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。		○		●	● ●		○			○	○				日本の援助で出来たサモアの道路(P121)				サモアを支える外国からの援助(P121)
	(ｲ) 人々の生活を基に地域的特色を大観し理解すること	世界の地理的な事象を身近に感じて、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成する		レポート：カレーからみた食文化。インドは広く、宗教や農作物等もさまざまで、そのことが各地の多様なカレーとなって表れている。(P128)【A-3多文化共生】							●															
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 地域で見られる地球的課題の要員や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに注目して多面的・多角的に考察し表現すること	地球的課題を地域という枠組みの中で考察し、地球的課題の影響や要因を地域の広がりや地域内の結びつきから特徴付けられる地域的特色と関連付ける																								
C 日本の様々な地域																										
(1) 地域調査の手法 場所などに着目して、次の事項を身につける		地位調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的技能を身につけられるようにする 学校周辺の地域の地理的な事象を学習対象とする	（P134-281） 第3編　日本のさまざまな地域																							
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること	学校周辺という直接経験地域にて、観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点、および観察や野外調査、地図や統計、警官写真などの資料を活用する文献調査の方法により、地域調査の結果を地図や図表、写真などにて表現すること	（P134-146） 第1章　地域調査の方法を学ぼう																							
	(ｲ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけること	資料から地域で見られる事象や特色など必要な情報を的確に読み取る技能、地域で見られる事象を地図や図表などに表現する機能を中心に、他教科等で身につけた技能の活用も視野に調査手法をして身につける																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 対象となる場所の特徴などに注目して、適切な主題や調査となるように調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること	主題を設定し、調査の対象となる地理的な事象を見出し調査に基づき資料を作るといった活動を通して、調査の手順や方法を考察、また表現できるようにすること																								
(2) 日本の地域的特色と地域区分 項目ごとに分布や地域などの着目して、以下の事項を身につける		我が国の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解できるようにする	（P147-172） 第2章　日本の特色と地域区分			P172 第2章まとめ ・「季節風」という言葉をつかって、夏と冬の太平洋側と日本海側の気候の違いについて文章にまとめる。 ・日本の新幹線や高速道路は、主にどのような人口や産業の特色が見られる	地図（日本の気候区分、日本の平野と川の分布、都道府県別の人口分布、都道府県別の人口増減率・将来の																					
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 日本の地形や気候の特色、国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること	日本全体で見ると我が国は環太平洋造山帯に属している、国土は海に囲まれ多くの島々から構成されていること、日本全体の視野から日本の自然環境を大きく捉えることを意味する		熊本自身の被災地でカレーをふるまうネパール人ボランティア（写真）(P161)【A-2文化交流】【D-3社会参加】						●										○						
	(ｲ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、人口に関する特色を理解すること	日本は世界に類を見ない速さで少子化、高齢化が進んだことに伴う課題に直面していること、人口分布を見ると不均等や分布が見られることを意味する																								
	(ｳ) 資源・エネルギー利用の現状、国内産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること	エネルギー資源や鉱産資源に恵まれていないため輸入に依存していること、自然及び社会的条件によって産業の地域的分業が進み変容していること、エネルギー問題を抱えた国であるがその現れ方には地域差がみられることを意味する		輸入に頼る資源・エネルギー。限りある資源、地球温暖化の進行、環境保全と経済発展を両立させる持続可能な社会の実現が課題。世界の鉱山資源と日本の輸入地図(P166)【B-1相互依存】【C-2環境】【C-4開発】								●			○		○									
	(ｴ) 日本と世界との交通・通信網の整備状況、陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国	交通網、情報通信ネットワークなどの整備が進んでいること、海外との物流においては輸送対象によって輸送手段の違いが見られること、日本国内の時間的な距		国境を越えた行き来、日本人の出国者数と外国人の来日者数の移り変わり（グラフ）(P170)【B-1相互依存】								●														

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識・技能の習得	(ｵ) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、国土の特色を大観し理解すること	上記各項目について分布図を作成するなどして日本全体の大まかな地域的特色を捉え、特色ある地域から日本が構成されていることを大観し理解できるようにすることを意味する																								
	(ｶ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分する技能を身につけること	地域区分には、商圏、都市圏など機能的に結び付く範囲によって区分したものなど、行政区分に基づかない地域区分もあることを意味する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 各項目について、それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して多面体・多角的に考察し、表現すること	ある指標を基に他と異なる共通した性質をもつ等質地域としての空間的なまとまりを見いだすことを意味する																								
	(ｲ) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	複数の分布図や地域区分を重ね合わせて関連付け、複数の項目による新たな地域区分を行い、そこで見出された地域の意味を考察し、特色を表現できるようにすることを意味する																								
(3) 日本の諸地域 考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに注目して、以下の事項を身につける		日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにすることが求められる	（P173-273） 第3章　日本の諸地域																							
ア 知識の習得	(ｱ) 幾つかに区分した日本の地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること	地域の特色を端的に示す地理的な事象を選択し、それを中核として内容を構成する	P174-　1．九州地方 P188-　2．中国・四国地方 P202-　3．近畿地方 P216-　4．中部地方 P230-　5．関東地方 P244-　6．東北地方 P258-　7．北海道地方	九州地方は古くから外国との交流の窓口。大型クルーズ船が寄港する博多港（写真）(P176)【A-2文化交流】【B-1相互依存】 京都の世界文化遺産、多くの観光客を集める観光都市（コラム）、外国との繋がり(P211)、外国人観光客の増加、複数言語の案内板などの増加(P207)【A-2文化交流】【B-1相互依存】 多文化共生について考える―浜松市の外国人共生の取組みを例に(P228)【A-3多文化共生】 埼玉県の工場で働くベトナム人（写真）、2018年の法律改正と外国人労働者を引き受ける業種の拡大(P230)【B-1相互依存】 世界の中の東京、外国人宿泊者数が全国の1/4を占め、飲食店や宿泊施設が充実。 在留外国人向け飲食店や食品販売店が集中するエスニックタウンの形成。外国人割合（グラフ）、大泉市の日本語・ポルトガル語併記のゴミの出し方看板（写真）、ブラジル人学校の授業の様子（写真）(P241)【A-2文化交流】【A-3多文化共生】【B-1相互依存】 東北地方の農作物の地域ブランド作りとグローバル化、海外への輸出、台湾での青森産リンゴ販売の様子（写真）(P255)【B-1相互依存】 北海道の観光産業、外国人客の増加と雪を使ったPR、外国人客割合（グラフ）、映画の舞台となった北海道（コラム）(P268)【A-2文化交流】【B-1相互依存】 ジオパークについて調べてみよう、自然環境の次世代への受け継ぎ(P273)【C-2環境】		P187 第3章①まとめ ・九州地方に分布する、主な史跡や歴史的な事柄について、大陸（海外）と関わりのあるものについてまとめる。 ・九州の多様な農業について、生産の工夫に注目して文章にまとめる。 ・九州地方の農業、工業、観光業について分担して特色をまとめる。それをもとに「九州地方の環境を生かす工夫」について意見を交換する。 P201 第3章②まとめ ・本州四国連絡橋の開通による、四国側の変化について文章にまとめる。 ・広島市の発展について、簡単な年表にまとめる。 ・馬路村や上勝町で行われた、地域の活性化の取組みが成功した理由について、それぞれまとめる。 ・中国・四国地方を日本海側、瀬戸内、太平洋側に分けて人口の変化についてまとめる。それをもとに「人が移動する原因と移動がもたらす地域の変化」について意見を交換する。 P215 第3章③まとめ ・資料「日本の工業地帯・地域の精算割合の変化」から、阪神工業地帯の全国に占める地位の変化について説明する。 ・琵琶湖の水質が悪化した原因と、水質を守るために続けられてきた努力について、それぞれまとめる。 ・近畿地方の歴史的な移り変わりに注目して、街並みや工業、都市などの特色を分担してまとめる。それをもとに「近畿地方が抱える課題」について意見を交換する。 P229 第3章④まとめ ・温暖な気候を利用した東海地方の農業と、扇状地や高原を利用した中央高地の農業は、それぞれどのように営まれているか、特色をまとめる。 ・北陸地方の伝統産業はどのような歴史的背景から現在に至ったか、具体例を挙げて説明する。 ・中部地方の三地域について、関心のある産業を選んで、分担して特色をまとめる。それをもとに「それぞれの産業に影響を及ぼしているもの」について意見を交換する。 P243 第3章⑤まとめ ・交通網の発達による東京大都市圏の拡大に伴って起きている問題について説明する。 ・関東地方の工業地帯・地域の分布について、文章にまとめる。 ・東京周辺で行われている近郊農業について交通網の整備という点からまとめる。それをもとに「大消費地に近いことがもたらす利点」について意見を交換する。 P257 第3章⑥まとめ ・青森県でりんごの栽培が盛んになった理由と、現在の取組みをまとめる。 ・東北地方の祭りを例に、祭りが始まった背景について調べてまとめる。 ・東北地方の祭りを一つ選んで、祭りが始まった理由や移り変わりについて調べる。それをもとに「東北地方の祭りの課題」について意見を交換する。 P272 第3章⑦まとめ ・北海道で「とる漁業」から「育てる漁業」へ転換が図られた理由を説明する。 ・これまでの噴火で被害が大きかった有珠山周辺地域では、火山と共存するためにどのような取り組みをしてきたかまとめる。 ・北海道地方の産業の特色について、農業、漁業、観光産業に分担して調べまとめる。それをもとに「自然環境との関わり」について意見を交換する。	指定教材は無く、自分で調べてまとめる。			○ ○ ○ ○	 ● ●	● ● ● ○ ● ●			 ●											
	(ｲ) 特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解すること	中核とした地理的な事象は、他の事象とも関わりあって成り立っていることに着目して、それらを有機的に関連図けることで動態的に取り扱い、地域的特色や地域の課題を捉えるようにすること																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 日本の諸地域について、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	①自然環境を中核とした考察とは、地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、生活・文化・産業と関連づける ②人口・都市を中核とした考察とは、人口の分布や胴体、都市機能に関する特色ある事象を生活・文化・産業と関連づける ③産業を中核とした考察とは、産業に特色のある事象を中核として、そこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連づける ④交通・通信に関する特色ある事象を中核として、そこでの産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連づける ⑤地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史、環境問題や環境保全の取組、地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、地域的特色や地域の課題を捉える																								
(4) 地域の在り方 空間的相互依存作用や地域などに着目して、次の事項を身につける		課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現する手法を理解できるようにする	（P274-281） 第4章　地域のあり方																							

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		国際援助	専門家	青年海外協力隊	その他	国際協力・援助
ア 知識の習得	(ア) 地域の実体や課題解決のための取組を理解すること	地域においてどのような地理的な事象が見られるのか、「地域の在り方」をめぐってどのような課題解決のための議論や取り組みが行われているなどについて理解する																								
	(イ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること	課題の要因について文章や地図、統計、モデル図などを用いて他者に説明したり、課題解決策について根拠に基づいて個人の意見を述べたり多様な意見を集団として集約したりすることを意味する																								
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ア) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、それで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること	地理的な事象に関わる課題に関し、「地域の結び付き」や「地域の変容」、「持続可能性」などに着目して「構想」することが大切																								

教科書における国際教育関連記載事項抜き出しリスト

社会・地理的分野

⇒地理的な見方・考え方：「位置や分布」、「場所の特徴」、「人と自然の関係」、「ほかの場所への影響/地域どうしのつながり」、「地域全体の傾向」

※教科書記載事項の列の【】内は、その抜き出したトピックが当てはまる「国際理解教育の実践的枠組み」の分類を表す。その中で下線がついているものが主な分類、下線がないものは付随的な分類となる。

●：教科書記載のトピックが主に当てはまる分類（一つのトピックにつき一つのみ）
〇：教科書記載のトピックが関連のある付随的分類（一つのトピックに何もつかない場合もあれば、複数つく場合もある）

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材	A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択			JICA関連記載				その他
								1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加	ODA・国際協力	専門家	青年海外協力隊	国内事業等	（JICA以外）
A 世界と日本の地域構成																								
(1) 地域構成 地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、以下の事項を身につける		位置や分布などに関わる視点に着目して、地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらい。学習の全体を通して、世界と日本の地域構成を大観し理解できるようにすることが求められる。	(P2-P22) 第1編　世界と日本の地域構成			1.(P2) 地球儀を回転させて、さまざまな角度から見る。 2. (P3) 六大陸の名前と三大洋の名前を答える。また、それぞれの州がある大陸の名前と、それぞれの州が面している海洋の名前を表に整理する。 3.(P5) 人口が多い国、面積が広い国上位10か国を調べて挙げ、それぞれ日本の約何倍になるか計算する。人口が多い国(上位5か国）と面積が広い国(上位5か国）の両方に当てはまる国を挙げ、その国の様子を地図帳で確認する。 4.(P7) 知っている国の国名の由来をインターネットなどで調べる。国旗が似ている国を地図帳で探し、国旗の成り立ちを調べる	地球儀、世界の国別資料(P275-277)																	
ア 知識の習得	(ア) 緯度と経度、大陸と海洋の分布などを基に、世界の地域構成を大観し理解すること	緯度と経度については、地球上の位置を緯度・経度を用いて表せるようにすることを意味。 大陸と海洋の分布については、各種地球儀や世界全図などを活用して、地球規模の位置関係を捉える手掛かりとなる六大陸と三大洋の大まかな形状と位置関係を理解できるようにする。 主な国々の名称と位置については、地球上の位置関係を捉え、表現するための手掛かりとなる国名の知識を理解できるようにする。	（P2~P11） 1　世界の地域構成	六大陸と三大洋、および六州の位置確認(P2)【A-1文化理解】 世界の人口、面積(P4)【A-1文化理解】 世界の国々の国名の由来、国旗の説明(P7)【A-1文化理解】	位置や分布	1.(P8) 緯度・経度を手掛かりに、地球儀を使って地球上で東京の反対側の地点を探す。 2. (P9) 緯度と経度の定義について確認する。 地図帳の索引を使って唐津市を探し、唐津市のおおよその緯度を答える。 3.(P11) グリーンランドとアフリカ大陸の大きさと形を比べる。 地球儀や地図の特長を、長所と短所に分けて説明する 4.(P12) 日本と緯度・経度が同じ範囲にある国を地図帳で確かめる。 緯度・経度、方位や距離を使って、ロシア、アメリカ、ブラジルに住む人にわかるように日本の位置を説明する。	地図帳	● ● ●																
	(イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること	我が国の国土の位置については、経度と緯度を使って国土の絶対的位置を捉えること、様々な相対的位置を取り上げることを意味する。 世界各地との時差については、日本との時差から地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解できるようにすることを意味する。 領域の範囲や変化とその特色については、領土だけでなく、領海、領空から成り立っており、それらが一体的な関係にあることを捉えることを意味している。	（P12~P22） 2　日本の地域構成	他国から見た日本の位置(P13)【A-1文化理解】 沖ノ鳥島が重要な理由と、守るための取り組み(P17)【A-1文化理解】 日本の領域をめぐる問題(P18)【A-1文化理解】【A-3多文化共生】 「ビザなし交流」で色丹島を訪れた訪問団とロシア人との交流（写真）(P19)【A-1文化理解】【A-2文化交流】【A-3多文化共生】	地域どうしのつながり、 位置や分布	1.(P15) 時差は経度の差に注目して計算することができることから、世界各地との時差を地図から読み取る。 2.(P16) 地図帳から日本の国土の北端、東端、西端、南端の島の名前を調べ、それぞれの島と東京の距離をはかる。 3.(P17) 日本の領域の特色を、面積、排他的経済水域、まわりの国との関係をポイントにまとめ、日本にとってなぜ排他的経済水域が重要なのかを考える 4. (P19) 北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土である根拠を説明する。また、尖閣諸島を日本の領土とすることに反対がなかったのに、なぜ中国は領有権を主張することになったのかを考える。	地図帳 世界の時差(P15)	● ● ●	●															
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ア) 世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、大陸と海洋の分布を地球儀と世界地図上で比較することで違いを考察したり、世界の主な国が日本とどのような位置関係にあるかを考察したりするなどの活動を通じて、地球上の位置関係や形状を正しく捉える学習を行うことが考えられる。																						
	(イ) 日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること	例えば、我が国の国土は多数の島々からなり、広大な広がりを有する海洋国家としての特色を持っていることなどを考察できるように、日本の略地図に島々を書き加えたり、領海や経済水域を含めた面積で比較したりすることが考えられる。																						
C 日本の様々な地域																								
(1) 世界各地の人々の生活と環境 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、次の事項を身につける		世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。 例えば、気候や植生などの自然的な側面や、集落や道路といった社会的な側面から僧都や特徴を捉えることなどが考えられる。	第2編　世界のさまざまな地域																					
ア 知識の習得	(ア) 人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり与えたりすることを理解すること	人々の生活が自然的条件のみではなく社会的条件の違いにも留意すること。さらに、人間社会の営みが自然環境に影響を与えることもあり、相互は関係し合っていることに留意すること。	(P23-42)　第1章　世界各地の人々の生活と環境	世界各地の食事の様子（写真）(P24-25)【A-1文化理解】 暑い地域の人々の生活・マレーシア(写真）(P28-29)【A-1文化理解】【C-2環境】 乾燥地域の人々の生活・モンゴル（写真）(P30-31)【A-1文化理解】【C-2環境】 温暖な地域の人々の生活・イタリア(写真）(P32-33)【A-1文化理解】 寒い地域の人々の生活・北アメリカ北部(写真）(P34-35)【A-1文化理解】 高地の人々の生活・アンデス(写真）(P36-37)【A-1文化理解】 言語の多様性　多くの言語が書かれた案内表示(P38-39)【A-1文化理解】【A-3多文化共生】 世界の宗教(写真、分布図）(P40-41)【A-1文化理解】【A-3多文化共生】	場所、人と自然とのかかわり	・世界各地の主食の農産物、作られている場所、食事の様子、服装等に着目しよう ・様々な自然環境の中で生きる人々の生活のくふうや生活の変化に着目しよう	写真	●●● ●●●		●●														
	(イ) 世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、主な宗教の分布も理解すること	世界の人々の衣食住などの生活が主な学習対象。また、同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に着目し、人々の生活が可変的なものであることに気づく																						
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ア) 人々の生活の特色やその変容の理由を、自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現すること	世界各地における人々の生活の特色がなぜ生み出されているのか、生活における変容がなぜ生じたのか、自然及び社会的条件などと関連付けることを通して、地理的な事象の意味や事象間の関係に着目すること																						
(2) 世界の諸地域 各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などの着目して、次の事項を身につける		空間的相互依存作用や地域に関わる視点に着目して、世界各地域で見られる地域課題の要因や影響をその地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察して表現する力の育成。また、地域的特色やそこで見られる地域的課題と地域的特色の関係を理解できるようにする。	(P43-117) 第2章　世界の諸地域			P117【世界の諸地域をふりかえる】 ①調べる地域や国で、特にどのようなことについて調べたいのか、テーマを決める。 ②どのように調べるか、検討する。③調べた内容をどのようにまとめればよいか考える																				
ア 知識の習得	(ア) 顕在化している地球的課題は、地域的特色の影響を受けて現れ方が異なることを理解すること	グローバル化する国際社会において、人類全体で取り組まなければならない課題、例えば持続可能な開発目標(SDGs)などの課題を取り上げ、普遍的な課題ではあるが地域的特色により要因や影響、対処の仕方などが異なることを意味する	1　アジア州(P44-57)	ASEANが支える東南アジアの国々の地域発展(P51)【B-1相互依存】【C-4開発】 インドの経済発展と南アジアへの企業の進出(P53)【B-1相互依存】【C-1人権】【C-2環境】 南アジアからやってきた出稼ぎ労働者(写真) (P54)【B-1相互依存】 日本とアジアの国々とのかかわり(P56)【A-2文化交流】【B-1相互依存】	地域どうしのつながり、地域	P57 東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジアにある国々の経済発展の要因や課題を、表にまとめる。その中から共通点、相違点をみつける。	地図 図 写真		●		● ● ● ○		○	○		○								

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材	A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択			JICA関連記載				その他
								1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加	ODA・国際協力	専門家	青年海外協力隊	国内事業等	（JICA以外）
ア 知識の習得			2 ヨーロッパ州(P58-70)	国境を超えた統合を進めるヨーロッパ(P61)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】 EU統合による生活の変化(P63)【A-3多文化共生】【B-1相互依存】 共通農業政策や工業におけるEUの協力体制(写真・図)（P65)【B-1相互依存】【C-4開発】 国境を超えたヨーロッパ人としての資源・エネルギーや環境に対する意識(P66)【B-1相互依存】【C-2環境】【D-2市民意識】【D-3社会参加】 国境をこえる環境問題(P67)【C-2環境】 移民、難民による多文化社会の形成と問題(P68)【A-3多文化共生】【C-1人権】	人と自然とのかかわり、地域どうしのつながり、地域	P69 EU統合がヨーロッパの国々や人々の考えにもたらした変化は何か。また、EUが今後解決すべき問題は何か、話し合う。				●	●	○	●	●	●	○	○	●	○		○	○					
			3 アフリカ州(P71-81)	アフリカで医療や衛星についての活動をする国際協力機構（JICA）の隊員（写真）(P72)【B-1相互依存】 アフリカの54か国のうち、日本が2016年に直接、支援・援助を行った国は何か国か。(クイズ形式による問いかけ）(P72)【B-1相互依存】 広がるフェアトレード、エチオピアで焼き畑農業をするデグルバイさんの話(P77)【B-1相互依存】 日本の企業の協力で建設されたアルミニウムの生産工場(モザンビーク）(写真）(P77)【B-1相互依存】 情報通信網の整備で変わる人々の生活。日本の国際協力機構（JICA）による協力で、ICTを使った新しい事業の展開に力を入れるルワンダ（コラム、写真）(P79)【C-4開発】 アフリカの紛争と私たち　携帯電話を例に、アフリカの紛争と私たちの生活とのつながりをみる(P80)【B-1相互依存】【C-3平和】	人と自然とのかかわり、地域どうしのつながり	P81 「アフリカの国々がモノカルチャー経済からの自立をはかるにはどうすればよいか」をテーマにウェビングマップを作り、①輸出用の農産物の多角化や②工業化を参考に、③フェアトレードから連想する言葉やアイディアを書き込む。	ウェビングマップ				●				○	●				ルワンダに対するICT事業支援（テキスト）		活動する隊員の紹介（写真）		
			4 北アメリカ州(P82-95)	多国籍化が進むアメリカのプロスポーツ(コラム、写真）(P91)【A-3多文化共生】 再生可能なカップを扱うアメリカのコーヒーチェーン店(写真) (P93)【C-2環境】	人と自然とのかかわり、地域どうしのつながり、地域	P94 「アメリカは、これからも大量生産・大量消費の社会を発展させていくべきだ」といういけんにたいし、これからはアメリカでも持続可能な社会をつくる必要があるとの立場から反対意見をまとめ、持続可能な社会を作って行く大切さについて考える。				●			●											
			5 南アメリカ州(P96-105)	移民の子孫である日系人の活躍(P100)【A-3多文化共生】【D-1歴史認識】 熱帯雨林を守る取り組み　人工衛星を使った監視に日本も協力(P102)【B-1相互依存】 環境保全と観光の両立（コラム、地図、写真）(P103)【C-2環境】【B-1相互依存】 地球温暖化を防ぐために（自由研究、コラム）(P104)【C-2環境】	人と自然とのかかわり、地域どうしのつながり	P100 南アメリカの人々の生活は、世界各地からの移民や開発で、どのように変化しただろうか。世界各地からの移民によって生み出された文化と、開発の進展に伴って起きている課題に着目しよう P105 ガラパゴス諸島では、貴重な自然環境を保全しながら観光との両立をはかるための取り組みが大変重要となっている。ガラパゴス諸島の環境をそこなうことなく観光を楽しむアイディアや活動を紹介する観光用パンフレットの表紙に掲載する「キャッチフレーズ」を考えよう（写真）				●	●	○			●	●			○							
			6 オセアニア州(P106-117)	多様な民族の共生　ニュージーランドの三つの公用語（コラム、写真）(P111)【A-3多文化共生】 深刻化する環境問題―冠水した広場で遊ぶ子供たち(ツバル）(写真）(P112-113)【C-2環境】 オセアニア州とアジアの国々や日本との結びつき(日本も、国際効力機構（JICA）が事務所や支所をおいたり、「太平洋・島サミット」を主催したりして支援を続けている) (P114)【B-1相互依存】	人と自然とのかかわり、地域どうしのつながり	P115 オセアニアでは、先住民の作った文化と外国からの移民が持ち込んだ文化が共存しており、様々な民族がそれぞれの文化を尊重し合っている。日本について学習する前に、「世界の中の日本」や「日本の中の世界」を考えて話し合う。				●	●			●							大洋州にJICA事務所設立				日本政府による「太平洋・島サミット」
	(ｲ) 人々の生活を基に地域的特色を大観し理解すること	世界の地理的な事象を身近に感じて、取り上げた世界の諸地域についてイメージを構成する																						
イ 表現力・判断力等の育成	(ｱ) 地域で見られる地球的課題の要員や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに注目して多面的・多角的に考察し表現すること	地球的課題を地域という枠組みの中で考察し、地球的課題の影響や要因を地域の広がりや地域内の結びつきから特徴付けられる地域的特色と関連付ける																						
C 日本の様々な地域																								
(1) 地域調査の手法 場所などに着目して、次の事項を身につける		地位調査を行う際の視点や方法を理解し、そのために必要な地理的技能を身につけられるようにする 学校周辺の地域の地理的な事象を学習対象とする	第3篇　日本のさまざまな地域																					
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解すること	学校周辺という直接経験地域にて、観察対象の焦点化、野外調査方法の吟味、文献資料の収集などの適切な視点、および観察や野外調査、地図や統計、警官写真などの資料を活用する文献調査の方法により、地域調査の結果を地図や図表、写真などにてひょうげんすること	第1章　地域調査の手法(P118-137)	外国人観光客が多い伏見稲荷大社の千本鳥居(写真）(P121)【A-2文化交流】	場所、地域					●													
	(ｲ) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけること	資料から地域で見られる事象や特色など必要な情報を的確に読み取る技能、地域で見られる事象を地図や図表などに表現する機能を中心に、他教科等で身につけた技能の活用も視野に調査手法をして身につける																						
イ 思考力・判断力・表現力等の育成	(ｱ) 対象となる場所の特徴などに注目して、適切な主題や調査となるように調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現すること	主題を設定し、調査の対象となる地理的な事象を見出し調査に基づき資料を作るといった活動を通して、調査の手順や方法を考察、また表現できるようにすること																						
(2) 日本の地域的特色と地域区分 項目ごとに分布や地域などの着目して、以下の事項を身につける		我が国の国土の地域的特色と地域区分の方法や意義を理解できるようにする	第2章　日本の地域的特色と地域区分(P138-162)																					
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 日本の地形や気候の特色、国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること	日本全体で見ると我が国は環太平洋造山帯に属している、国土は海に囲まれ多くの島々から構成されていること、日本全体の視野から日本の自然環境を大きく捉えることを意味する			位置や分布、地域																			
	(ｲ) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、人口に関する特色を理解すること	日本は世界に類を見ない速さで少子化、高齢化が進んだことに伴う課題に直面していること、人口分布を見ると不均等や分布が見られることを意味する			位置や分布																			
	(ｳ) 資源・エネルギー利用の現状、国内産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること	エネルギー資源や鉱産資源に恵まれていないため輸入に依存していること、自然及び社会的条件によって産業の地域的分業が進み変容していること、エネルギー問題を抱えた国であるがその現れ方には地域差がみられることを意味する		鉱山資源に乏しく、外国に資源やエネルギーの多くを依存している日本(P154)【B-1相互依存】 環境問題への取り組み　様々な再生可能エネルギー(コラム、写真）(P155)【C-2環境】【C-4開発】	位置や分布						●			○		●							

学習指導要領		学習指導要領解説	教科書対象範囲	教科書記載	見方・考え方	「見方・考え方」を働かせる「問い」または「学習活動」	教材		A 多文化社会			B グローバル社		C 地球的課題				D 未来への選択				JICA関連記載				その他
									1 文化理解	2 文化交流	3 多文化共生	1 相互依存	2 情報化	1 人権	2 環境	3 平和	4 開発	1 歴史認識	2 市民意識	3 社会参加		ODA・国際協力	専門家	青年海外協力隊	国内事業等	（JICA以外）
ア 知識・技能の習得	(ｱ) 日本と世界との交通・通信網の整備状況、陸上・海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結びつきの特色を理解すること	交通網、情報通信ネットワークなどの整備が進んでいること、海外との物流においては輸送対象によって輸送手段の違いが見られること、日本国内の時間的な距離が短縮されていること、物資の国際間移動が活発であること、結び付きについては地域差があることなどを意味する			地域どうしのつながり																				
	(ｲ) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、国土の特色を大観し理解すること	上記各項目について分布図を作成するなどして日本全体の大まかな地域的特色を捉え、特色ある地域から日本が構成されていることを大観し理解できるようにす																							
	(ｳ) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分する技能を身につけること	地域区分には、商圏、都市圏など機能的に結び付く範囲によって区分したものなど、行政区分に基づかない地域区分もあることを意味する																							
断力・表現力等	(ｱ) 各項目について、それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して多面体・多角的に考察し、表現すること	ある指標を基に他と異なる共通した性質をもつ等質地域としての空間的なまとまりを見いだすことを意味する																							
	(ｲ) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	複数の分布図や地域区分を重ね合わせて関連付け、複数の項目による新たな地域区分を行い、そこで見出された地域の意味を考察し、特色を表現できるようにすることを意味する																							
(3) 日本の諸地域 考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに注目して、以下の事項を身につける		日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにすることが求められる	第3章　日本の諸地域(P163-262)																						
ア 知識の習得	(ｱ) 幾つかに区分した日本の地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること	地域の特色を端的に示す地理的な事象を選択し、それを中核として内容を構成する	1　九州地方(P164-177) 2　中国・四国地方(P178-191) 3　近畿地方(P192-205) 4　中部地方(P206-219) 5　関東地方(P220-233) 6　東北地方(P234-247) 7　北海道地方(P248-262)	「一村一品運動」国内外から来訪する農業研修受講者(P171)【A-2文化交流】 アジアからの外国人観光客も増加する沖縄　環境保全との両立を目指す取り組み(P172)【A-2文化交流】【C-2環境】 「世界の環境首都」を目指す北九州市の取り組み(P175)【C-2環境】【D-2市民意識】【D-3社会参加】 平和記念都市・広島市（コラム、写真）(P183)【C-3平和】【D-1歴史認識】 世界とつながる大阪（コラム、写真）(P199)【B-1相互依存】 堺打刀物技術をニューヨークで披露する様子（写真）(P201)【A-1文化理解】【A-2文化交流】 2025年に開催予定の大阪・関西万博(P204)【A-2文化交流】 世界都市、東京と日本や世界の結びつき(P224)【B-1相互依存】 世界が注目！日本の都市文化（コラム、写真）(P225)【A-2文化交流】 多文化共生社会をめざして（コラム、写真）(P229)【A-3多文化共生】 東京オリンピック・パラリンピック2020(P232)【A-2文化交流】 外国で販売される福島県産の桃（タイ）(写真）(P235)【B-1相互依存】	地域どうしのつながり、地域	P262 現在の日本では、SDGsの17の目標がどの程度達成できているか、判断する。また、日本が優先的に取り組むべき目標だと思うものから順番に4つのグループに分ける。 また、17の目標の番号を記入して積み上げ、ピラミッドにする	ピラミッドランキング		○	● ● ● ● ● ○	●	● ● ●			● ●	●			○	○					
	(ｲ) 特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解すること	中核とした地理的な事象は、他の事象とも関わりあって成り立っていることに着目して、それらを有機的に関連図けることで動態的に取り扱い、地域的特色や地域の課題を捉えるようにすること																							
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 日本の諸地域について、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること	①自然環境を中核とした考察とは、地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、生活・文化・産業と関連づける ②人口・都市を中核とした考察とは、人口の分布や胴体、都市機能に関する特色ある事象を生活・文化・産業と関連づける ③産業を中核とした考察とは、産業に特色のある事象を中核として、そこでの自然環境や交通・通信などに関する事象と関連づける ④交通・通信に関する特色ある事象を中核として、そこでの産業や人口や都市・村落などに関する事象と関連づける ⑤地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史、環境問題や環境保全の取組、地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として、地域的特色や地域の課題を捉える																							
(4) 地域の在り方 空間的相互依存作用や地域などに着目して、次の事項を身につける		課題解決の取組や課題解決に向けて構想したことを適切に表現する手法を理解できるようにする																							
ア 知識の習得	(ｱ) 地域の実体や課題解決のための取組を理解すること	地域においてどのような地理的な事象が見られるのか、「地域の在り方」をめぐってどのような課題解決のための議論や取り組みが行われているなどについて理解する	第4章　地域のあり方(P263-273)	自然と防災班が集めた防災パンフレットなどの資料(写真）(P266)【B-2情報化】 京都市都市計画局の人の話(P269)【A-2文化交流】	地域どうしのつながり、地域					●			●												
	(ｲ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること	課題の要因について文章や地図、統計、モデル図などを用いて他者に説明したり、課題解決策について根拠に基づいて個人の意見を述べたり多様な意見を集団として集約したりすることを意味する																							
イ 思考力・判断力・表現力等の習得	(ｱ) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、それで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること	地理的な事象に関わる課題に関し、「地域の結び付き」や「地域の変容」、「持続可能性」などに着目して「構想」することが大切																							